

**仙台市高齢者保健福祉計画
策定のための実態調査報告書
(速報版)**

【高齢者一般調査】

令和5年3月

仙台市

調査の実施概要

1 調査目的

仙台市高齢者保健福祉計画策定のための実態調査（高齢者一般調査）は、次期仙台市高齢者保健福祉計画（計画期間：令和6年度～8年度）の策定にあたり、本市高齢者の日常生活の状況や、地域での活動状況、本市の保健福祉施策に関する意見等について把握することを目的として実施しました。

2 調査概要

調査対象者	令和4年8月末の時点において、仙台市介護保険被保険者資格を有している一般高齢者、事業対象者（豊齢力チェックリスト該当者）、要支援1・2の方（約211,000人）から調査区域（18か所）ごとに無作為抽出した方	11,700人
調査方法	郵送方式にて実施（調査対象者に調査票を郵送し、記入後の調査票を同封の返信用封筒にて返送）	
調査基準日	令和4年10月1日	
調査期間	令和4年10月14日～令和4年11月4日	
調査票の 設問内容	1	性別について
	2	年齢について
	3	要支援等の認定状況について
	4	あなたのご家族や生活状況について
	5	からだを動かすことについて
	6	食べることについて
	7	毎日の生活について
	8	地域での活動について
	9	たすけあいについて
	10	高齢者を支援する仕事やボランティア活動について
	11	健康について
	12	健康づくりについて
	13	認知症について
	14	在宅で暮らしていくために必要なことについて
	15	地域包括支援センターの利用について
	16	スマートフォン・パソコン等について
	17	高齢者福祉サービスの今後の利用意向について
	18	終活について
	19	新型コロナウイルス感染症の影響による変化について
	20	仙台市への意見・要望について（自由記述）

3 調査の回答状況

調査票区分	配布数	有効回収数※	有効回収率	集計対象者数※	集計対象率
高齢者保健福祉計画策定のための実態調査	11,700人	8,024人	68.6%	7,926人	67.7%

※ 有効回収数とは、郵送による回答を収受した数で、そのうち、「死亡」、「障害等により回答できない」、「仙台市外に転居」等の方を除いたものを集計対象者数とした。

調査区名	回答数	%※
五橋・上杉・木町通・花京院	451	5.7
双葉ヶ丘・葉山・台原	419	5.3
国見・国見ヶ丘・桜ヶ丘	430	5.4
大沢広陵・あやし・南吉成	420	5.3
東仙台・宮城野・榴岡	439	5.5
小松島・燕沢・鶴ヶ谷	448	5.7
岩切・高砂・福田町	435	5.5
河原町・大和蒲町・遠見塚	443	5.6
六郷・沖野・七郷	431	5.4
長町・郡山・富沢	446	5.6
愛宕橋・八木山・西多賀・山田	432	5.5
西中田・袋原・四郎丸	456	5.8
茂庭・秋保	419	5.3
泉中央・寺岡・高森	435	5.5
将監・松森・向陽台	452	5.7
南光台・八乙女	447	5.6
虹の丘・加茂・長命ヶ丘	460	5.8
根白石・南中山	458	5.8
調査区不明	5	0.1
全体	7,926	100.0

※（調査区の回答数）／（全体の回答数）を示しています。

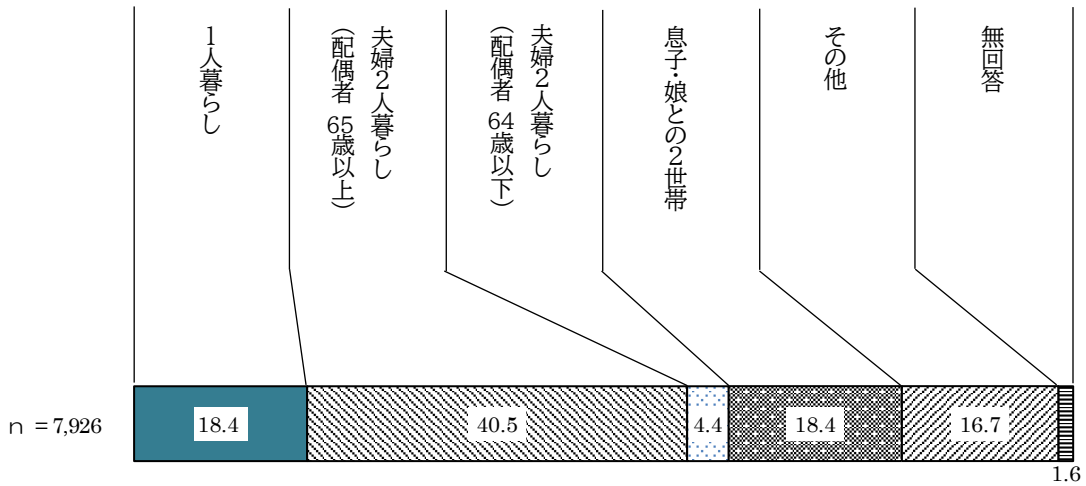
4 報告書を読む際の留意点

- ① グラフのnとは回答数を表すものであり、質問によって異なる場合があります。
- ② 回答の構成比は百分率（％）で表し、小数点第2位を四捨五入して算出しています。従って、単一選択式の質問においては、回答比率を合計しても100%にならないことがあります。また、回答者が2つ以上の回答をすることができる複数選択式の質問においては、各質問の回答数（n）を基数として算出するため、全ての選択肢の比率を合計すると100%を超える場合があります。
- ③ 集計表や図では、選択肢の語句を一部簡略化してあらわしている場合があります。

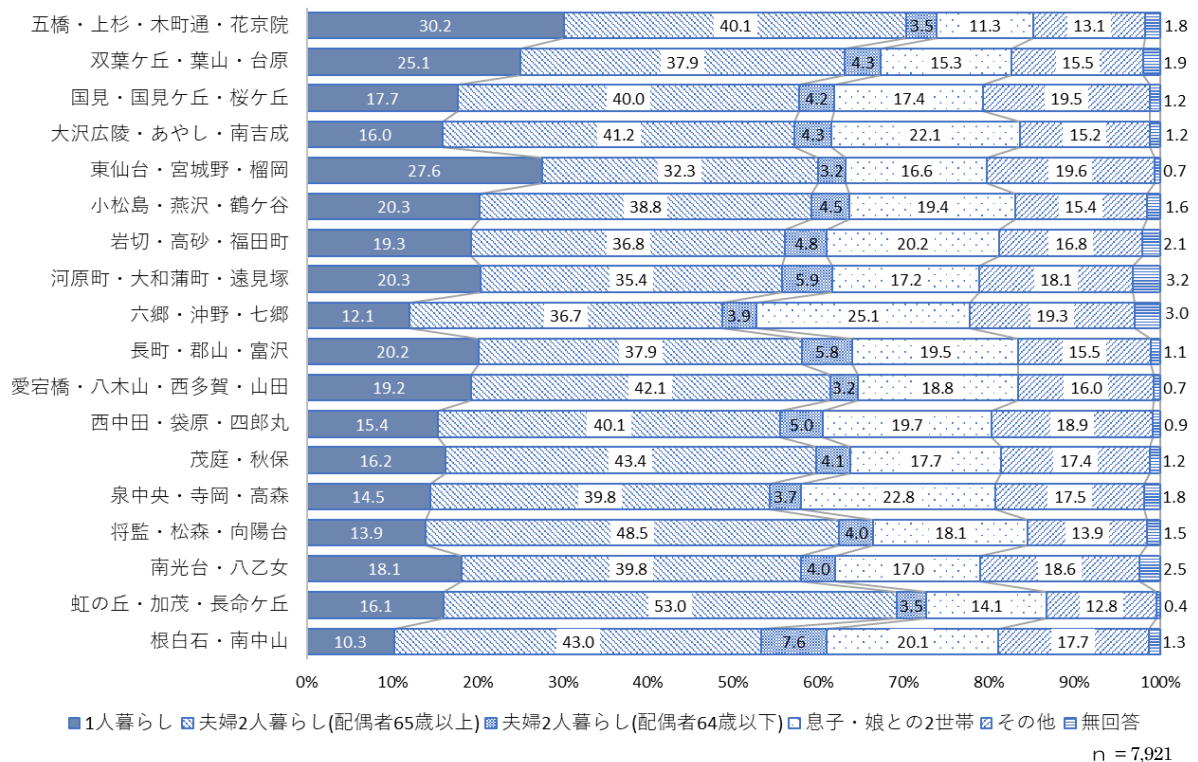
調査結果の概要

1 家族構成

「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が40.5%と最も多くなっており、次いで「1人暮らし」、
「息子・娘との2世帯」がそれぞれ18.4%となっています。

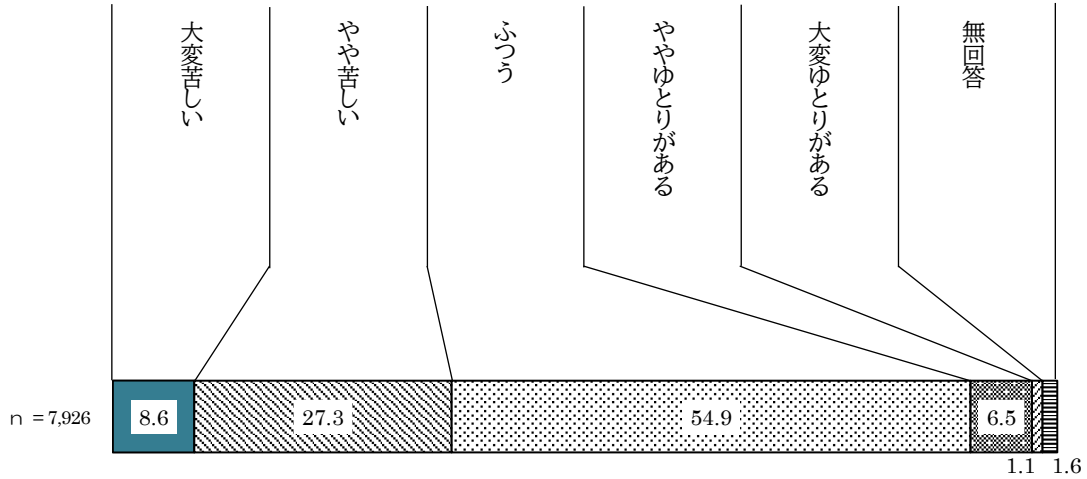


調査区別では、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」の割合が最も多いのは「将監・松森・向陽台」で48.5%、「1人暮らし」は「五橋・上杉・木町通・花京院」が30.2%と最も多く、「息子・娘との2世帯」は「六郷・沖野・七郷」が25.1%と最も多くなっています。

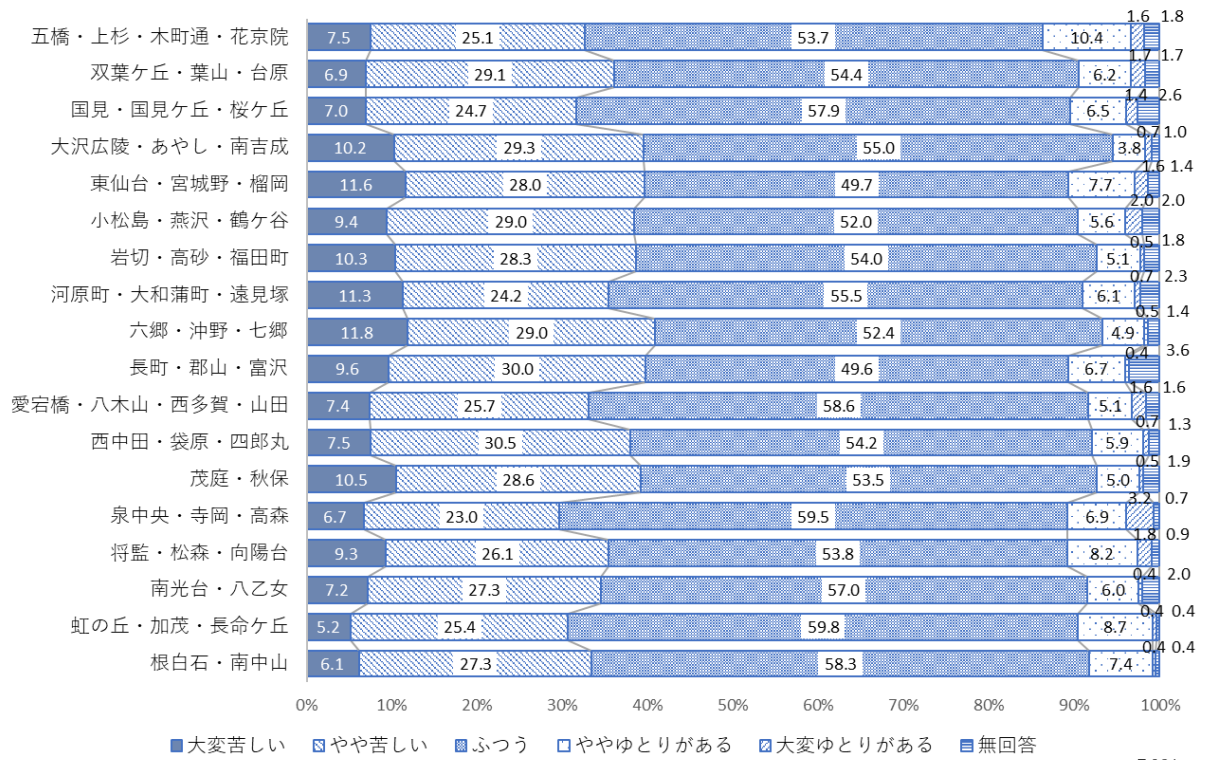


2 経済的な暮らしの状況

「ふつう」が54.9%となっており最も多く、次いで「やや苦しい」が27.3%となっており、「大変苦しい」が8.6%、「ややゆとりがある」が6.5%となっています。



調査区別では「ふつう」の割合が最も多いのは「虹の丘・加茂・長命ヶ丘」で59.8%となっており、「やや苦しい」は「西中田・袋原・四郎丸」で30.5%、「大変苦しい」は「六郷・沖野・七郷」で11.8%、「ややゆとりがある」は「五橋・上杉・木町通・花京院」で10.4%と、それぞれ最も多くなっています。



3 機能別リスク該当者割合の分析 (1) 運動器

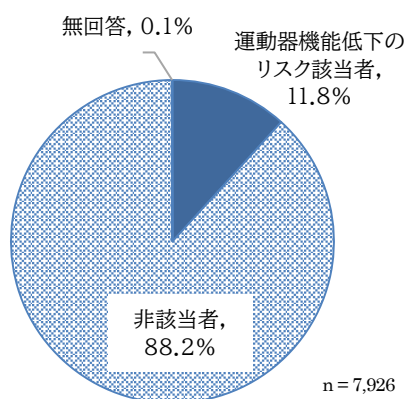
厚生労働省「介護予防・日常生活圏域二一ズ調査の手引き」(以下「国の手引き」という)をもとに、以下の5項目のうち3項目以上を選択した人を運動器機能低下のリスク該当者としました。

回答結果をみると、全体では11.8%(男性7.9%、女性15.0%)の方がリスク該当者となっています。

問番号	設問	該当する選択肢
問5(1)	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	できない
問5(2)	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	できない
問5(3)	15分位続けて歩いていますか	できない
問5(4)	過去1年間に転んだ経験がありますか	何度もある/1度ある
問5(5)	転倒に対する不安は大きいですか	とても不安である/やや不安である

(設問5項目中1項目でも回答があった場合は評価対象とし、5項目全て回答がない場合は無回答とした)

◆全体

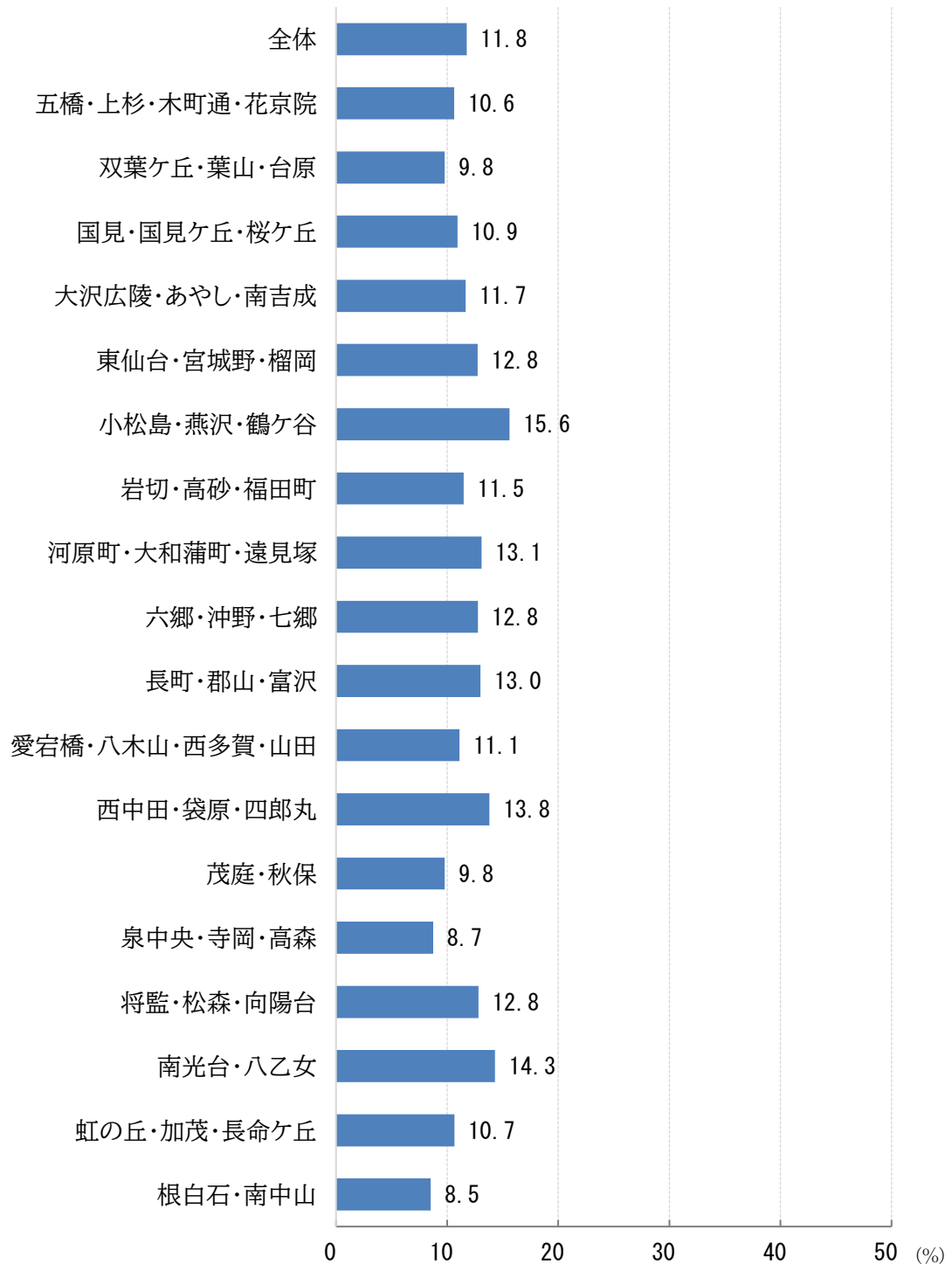


◆性別・年齢階級別

	全体	該当者	非該当者	無回答
全体・計	7,926 100.0	932 11.8	6,989 88.2	5 0.1
65~69歳	1,951 100.0	92 4.7	1,858 95.2	1 0.1
70~74歳	2,340 100.0	166 7.1	2,172 92.8	2 0.1
75~79歳	1,649 100.0	178 10.8	1,470 89.1	1 0.1
80~84歳	1,122 100.0	196 17.5	925 82.4	1 0.1
85~89歳	604 100.0	188 31.1	416 68.9	0 0.0
90歳以上	236 100.0	109 46.2	127 53.8	0 0.0
年齢無回答	24 100.0	3 12.5	21 87.5	0 0.0
男性・計	3,620 100.0	285 7.9	3,333 92.1	2 0.1
男性・65~69歳	920 100.0	31 3.4	889 96.6	0 0.0
男性・70~74歳	1,080 100.0	58 5.4	1,021 94.5	1 0.1
男性・75~79歳	779 100.0	68 8.7	710 91.1	1 0.1
男性・80~84歳	472 100.0	46 9.7	426 90.3	0 0.0
男性・85~89歳	280 100.0	55 19.6	225 80.4	0 0.0
男性・90歳以上	89 100.0	27 30.3	62 69.7	0 0.0
男性・年齢無回答	0 -	0 0.0	0 0.0	0 0.0
女性・計	4,249 100.0	639 15.0	3,607 84.9	3 0.1
女性・65~69歳	1,025 100.0	61 6.0	963 94.0	1 0.1
女性・70~74歳	1,249 100.0	107 8.6	1,141 91.4	1 0.1
女性・75~79歳	861 100.0	110 12.8	751 87.2	0 0.0
女性・80~84歳	643 100.0	146 22.7	496 77.1	1 0.2
女性・85~89歳	323 100.0	133 41.2	190 58.8	0 0.0
女性・90歳以上	145 100.0	81 55.9	64 44.1	0 0.0
女性・年齢無回答	3 100.0	1 33.3	2 66.7	0 0.0

調査区別にみると、運動器機能低下のリスク該当者の割合が最も多いのは「小松島・燕沢・鶴ヶ谷」で15.6%、最も少ないのは「根白石・南中山」で8.5%となっており、両調査区の間には7.1ポイントの差があります。

◆調査区別



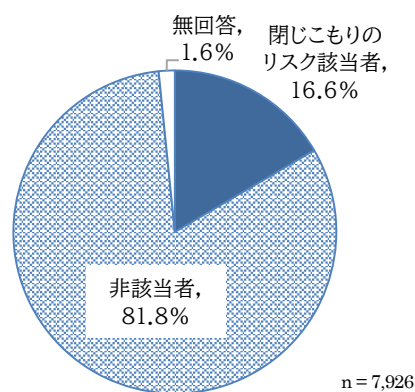
(2) 閉じこもり

国の手引きをもとに、以下の項目に該当する人を閉じこもりのリスク該当者としました。

回答結果をみると、全体では 16.6%（男性 14.4%、女性 18.3%）の方がリスク該当者となっています。

問番号	設問	該当する選択肢
問5(6)	週に1回以上は外出していますか	ほとんど外出しない/週1回

◆全体

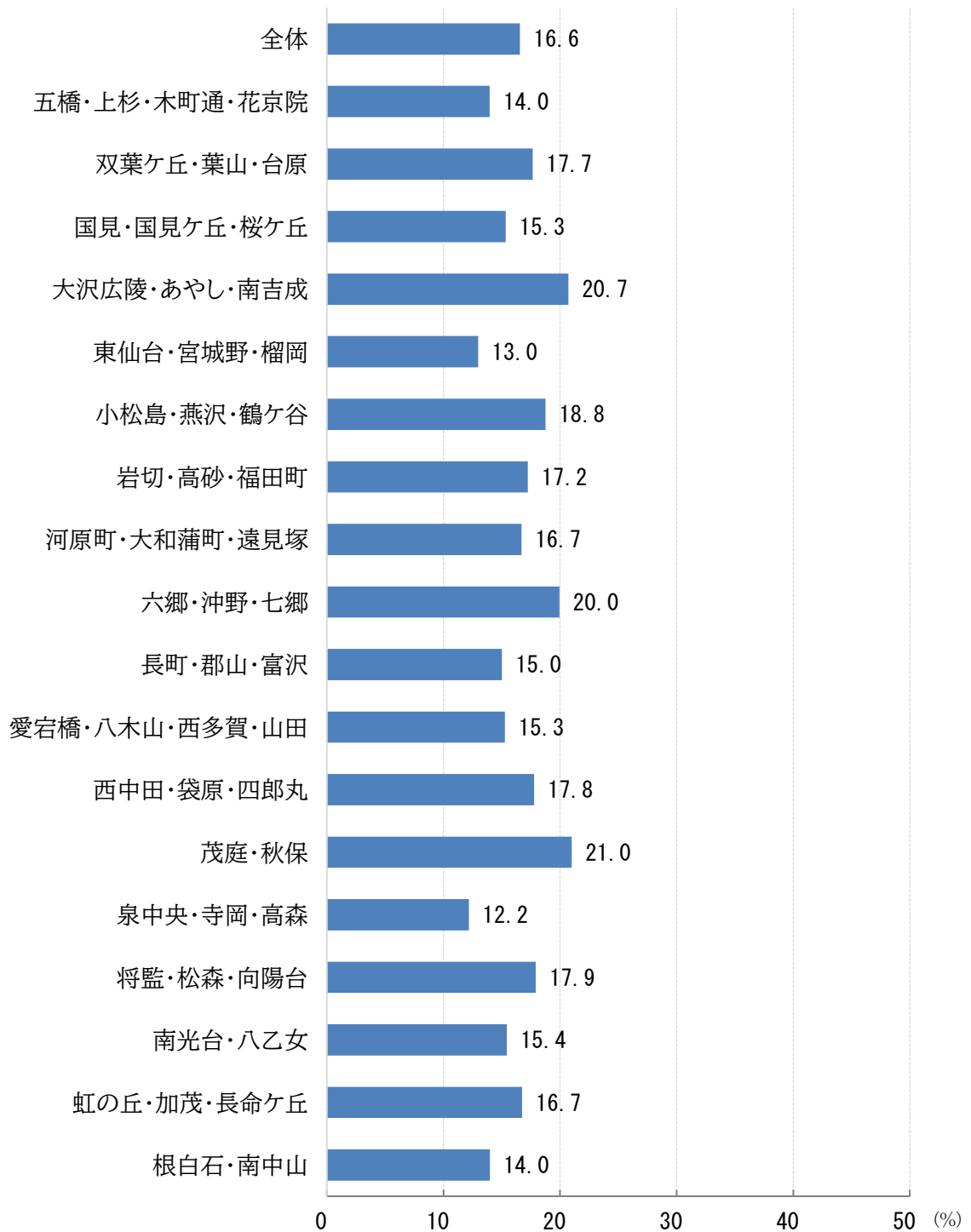


◆性別・年齢階級別

	全体	該当者	非該当者	無回答
全体・計	7,926 100.0	1,313 16.6	6,486 81.8	127 1.6
65～69歳	1,951 100.0	148 7.6	1,787 91.6	16 0.8
70～74歳	2,340 100.0	304 13.0	1,999 85.4	37 1.6
75～79歳	1,649 100.0	269 16.3	1,352 82.0	28 1.7
80～84歳	1,122 100.0	257 22.9	844 75.2	21 1.9
85～89歳	604 100.0	213 35.3	374 61.9	17 2.8
90歳以上	236 100.0	114 48.3	115 48.7	7 3.0
年齢無回答	24 100.0	8 33.3	15 62.5	1 4.2
男性・計	3,620 100.0	520 14.4	3,045 84.1	55 1.5
男性・65～69歳	920 100.0	64 7.0	849 92.3	7 0.8
男性・70～74歳	1,080 100.0	129 11.9	933 86.4	18 1.7
男性・75～79歳	779 100.0	117 15.0	651 83.6	11 1.4
男性・80～84歳	472 100.0	92 19.5	371 78.6	9 1.9
男性・85～89歳	280 100.0	79 28.2	192 68.6	9 3.2
男性・90歳以上	89 100.0	39 43.8	49 55.1	1 1.1
男性・年齢無回答	0 -	0 0.0	0 0.0	0 0.0
女性・計	4,249 100.0	777 18.3	3,402 80.1	70 1.6
女性・65～69歳	1,025 100.0	84 8.2	932 90.9	9 0.9
女性・70～74歳	1,249 100.0	173 13.9	1,057 84.6	19 1.5
女性・75～79歳	861 100.0	150 17.4	694 80.6	17 2.0
女性・80～84歳	643 100.0	160 24.9	472 73.4	11 1.7
女性・85～89歳	323 100.0	134 41.5	181 56.0	8 2.5
女性・90歳以上	145 100.0	74 51.0	65 44.8	6 4.1
女性・年齢無回答	3 100.0	2 66.7	1 33.3	0 0.0

調査区別にみると、閉じこもりのリスク該当者の割合が最も多いのは「茂庭・秋保」で21.0%、最も少ないのは「泉中央・寺岡・高森」で12.2%となっており、両調査区の間には8.8ポイントの差があります。

◆調査区別



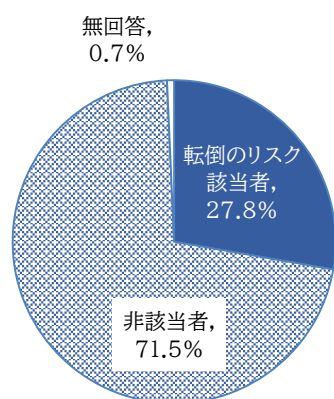
(3) 転倒

国の手引きをもとに、以下の項目に該当する人を転倒のリスク該当者としました。

回答結果をみると、全体では27.8%（男性24.8%、女性30.2%）の方がリスク該当者となっています。

問番号	設問	該当する選択肢
問5(4)	過去1年間に転んだ経験がありますか	何度もある／1度ある

◆全体

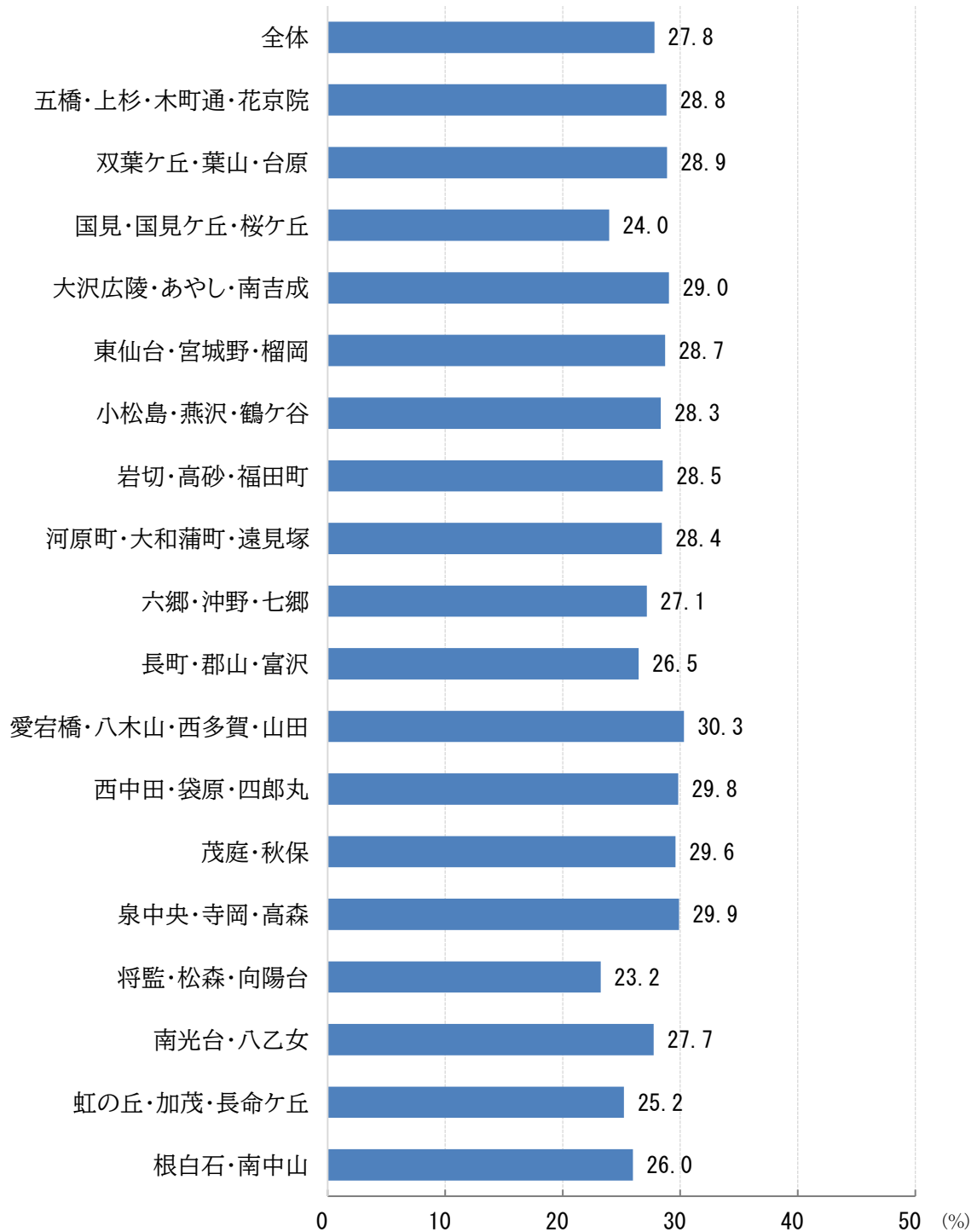


◆性別・年齢階級別

	全体	該当者	非該当者	無回答
全体・計	7,926 100.0	2,200 27.8	5,670 71.5	56 0.7
65～69歳	1,951 100.0	456 23.4	1,485 76.1	10 0.5
70～74歳	2,340 100.0	591 25.3	1,730 73.9	19 0.8
75～79歳	1,649 100.0	426 25.8	1,211 73.4	12 0.7
80～84歳	1,122 100.0	354 31.6	757 67.5	11 1.0
85～89歳	604 100.0	257 42.5	343 56.8	4 0.7
90歳以上	236 100.0	108 45.8	128 54.2	0 0.0
年齢無回答	24 100.0	8 33.3	16 66.7	0 0.0
男性・計	3,620 100.0	896 24.8	2,699 74.6	25 0.7
男性・65～69歳	920 100.0	185 20.1	732 79.6	3 0.3
男性・70～74歳	1,080 100.0	251 23.2	816 75.6	13 1.2
男性・75～79歳	779 100.0	169 21.7	603 77.4	7 0.9
男性・80～84歳	472 100.0	140 29.7	331 70.1	1 0.2
男性・85～89歳	280 100.0	112 40.0	167 59.6	1 0.4
男性・90歳以上	89 100.0	39 43.8	50 56.2	0 0.0
男性・年齢無回答	0 -	0 0.0	0 0.0	0 0.0
女性・計	4,249 100.0	1,283 30.2	2,935 69.1	31 0.7
女性・65～69歳	1,025 100.0	269 26.2	749 73.1	7 0.7
女性・70～74歳	1,249 100.0	336 26.9	907 72.6	6 0.5
女性・75～79歳	861 100.0	254 29.5	602 69.9	5 0.6
女性・80～84歳	643 100.0	210 32.7	423 65.8	10 1.6
女性・85～89歳	323 100.0	144 44.6	176 54.5	3 0.9
女性・90歳以上	145 100.0	68 46.9	77 53.1	0 0.0
女性・年齢無回答	3 100.0	2 66.7	1 33.3	0 0.0

調査区別にみると、転倒のリスク該当者の割合が最も多いのは「愛宕橋・八木山・西多賀・山田」で30.3%となっており、他に10調査区が28%～30%の割合となっています。最も少ないのは「将監・松森・向陽台」で23.2%となっています。両調査区の間には7.1ポイントの差があります。

◆調査区別



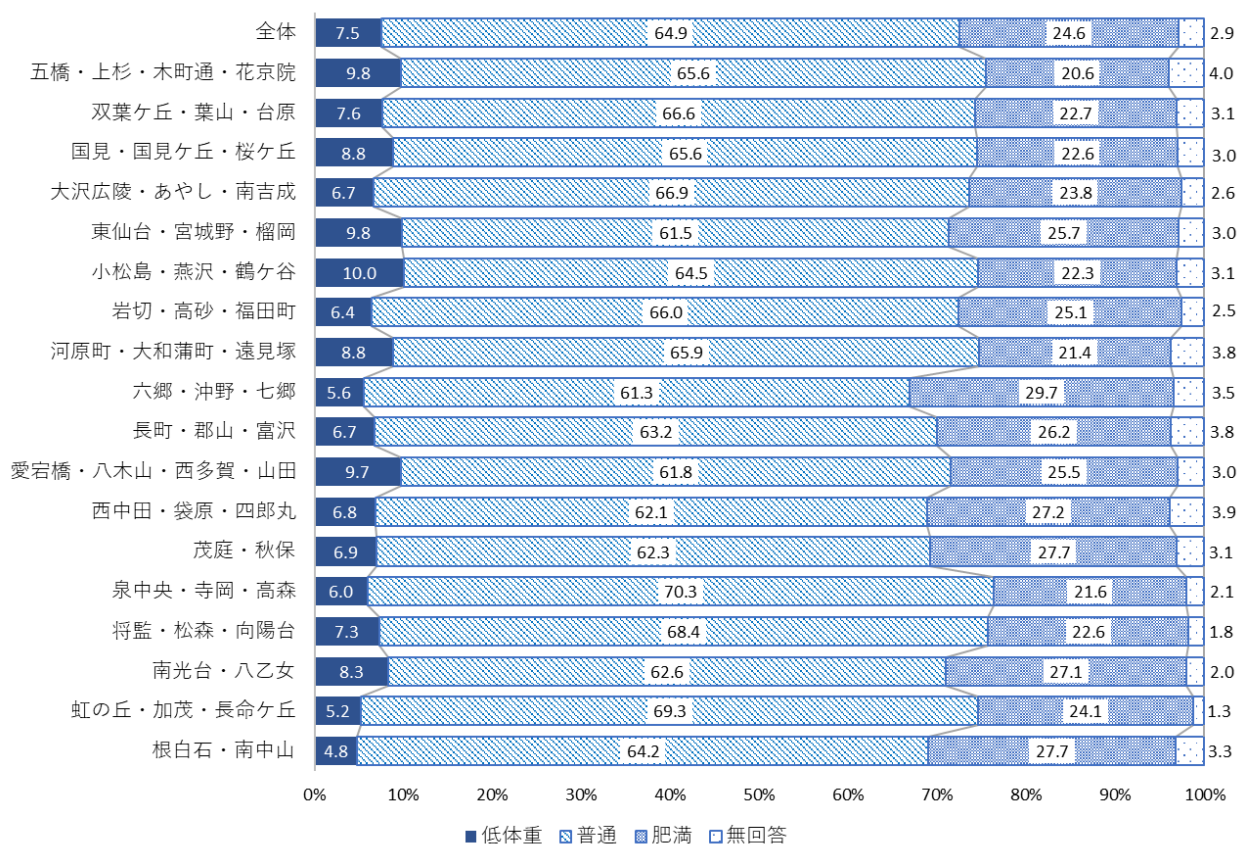
(4) BMI

調査票の以下の設問からBMIを算出しました。

問番号	設問	指標
問6(1)	身長・体重をご記入ください	BMI 18.5未満 : 低体重 18.5以上25未満 : 普通 25以上 : 肥満

本市全体では、64.9%が普通、24.6%が肥満、7.5%が低体重となっています。

調査区別にみると、低体重の割合が最も多いのは「小松島・燕沢・鶴ヶ谷」で10.0%となっており、普通の割合が最も多いのは「泉中央・寺岡・高森」で70.3%、肥満の割合が最も多い調査区は「六郷・沖野・七郷」で29.7%となっています。



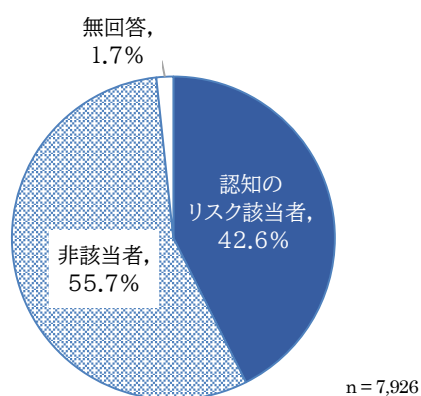
(5) 認知

国の手引きをもとに、以下の項目に該当する人を認知のリスク該当者としました。

回答結果をみると、全体では42.6%（男性39.3%、女性45.3%）の方がリスク該当者となっています。

問番号	設問	該当する選択肢
問7(1)	物忘れが多いと感じますか	はい

◆全体

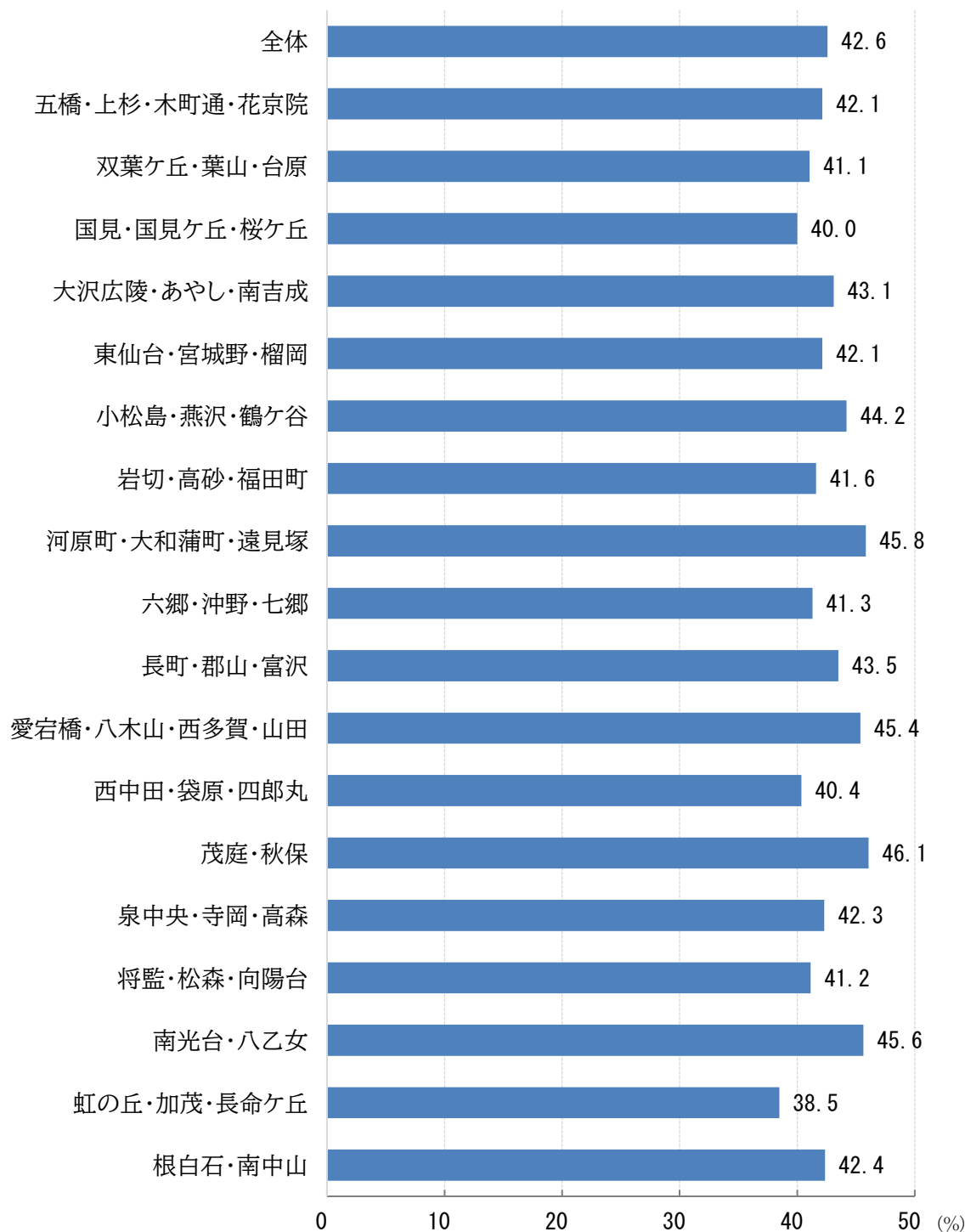


◆性別・年齢階級別

	全体	該当者	非該当者	無回答
全体・計	7,926 100.0	3,375 42.6	4,417 55.7	134 1.7
65～69歳	1,951 100.0	736 37.7	1,198 61.4	17 0.9
70～74歳	2,340 100.0	895 38.2	1,409 60.2	36 1.5
75～79歳	1,649 100.0	698 42.3	918 55.7	33 2.0
80～84歳	1,122 100.0	526 46.9	570 50.8	26 2.3
85～89歳	604 100.0	360 59.6	227 37.6	17 2.8
90歳以上	236 100.0	150 63.6	82 34.7	4 1.7
年齢無回答	24 100.0	10 41.7	13 54.2	1 4.2
男性・計	3,620 100.0	1,423 39.3	2,142 59.2	55 1.5
男性・65～69歳	920 100.0	316 34.3	599 65.1	5 0.5
男性・70～74歳	1,080 100.0	402 37.2	662 61.3	16 1.5
男性・75～79歳	779 100.0	299 38.4	468 60.1	12 1.5
男性・80～84歳	472 100.0	201 42.6	259 54.9	12 2.5
男性・85～89歳	280 100.0	158 56.4	114 40.7	8 2.9
男性・90歳以上	89 100.0	47 52.8	40 44.9	2 2.2
男性・年齢無回答	0 -	0 0.0	0 0.0	0 0.0
女性・計	4,249 100.0	1,925 45.3	2,246 52.9	78 1.8
女性・65～69歳	1,025 100.0	417 40.7	596 58.1	12 1.2
女性・70～74歳	1,249 100.0	486 38.9	743 59.5	20 1.6
女性・75～79歳	861 100.0	395 45.9	445 51.7	21 2.4
女性・80～84歳	643 100.0	323 50.2	306 47.6	14 2.2
女性・85～89歳	323 100.0	201 62.2	113 35.0	9 2.8
女性・90歳以上	145 100.0	102 70.3	41 28.3	2 1.4
女性・年齢無回答	3 100.0	1 33.3	2 66.7	0 0.0

調査区別にみると、認知のリスク該当者の割合が最も多いのは「茂庭・秋保」で46.1%、最も少ないのは「虹の丘・加茂・長命ヶ丘」で38.5%となっており、両調査区の間には7.6ポイントの差があります。

◆調査区別



(6) うつ

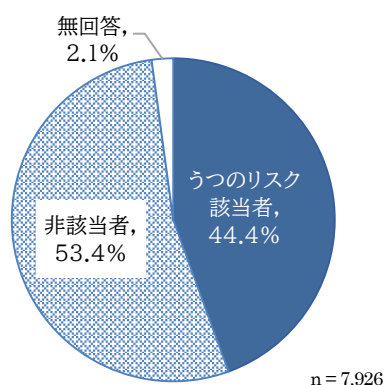
国の手引きをもとに、以下の2項目のうち1項目以上に該当する人をうつのリスク該当者としてしました。

回答結果をみると、全体では44.4%（男性39.7%、女性48.4%）の方がリスク該当者となっています。

問番号	設問	該当する選択肢
問11(3)	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	はい
問11(4)	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	はい

(設問2項目中1項目以上回答があった場合は評価対象とし、2項目いずれも回答がない場合は無回答とした)

◆全体

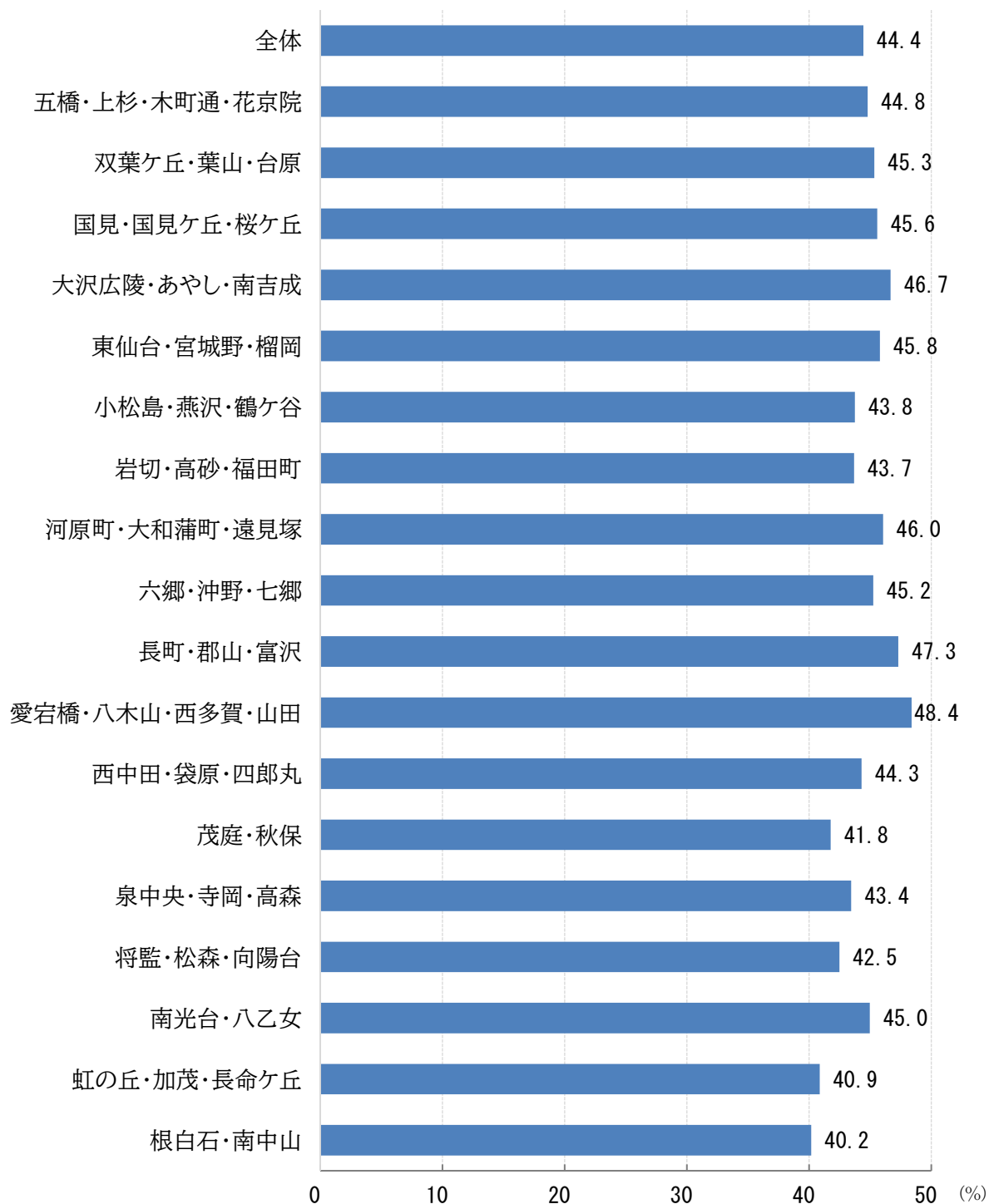


◆性別・年齢階級別

	全体	該当者	非該当者	無回答
全体・計	7,926 100.0	3,522 44.4	4,234 53.4	170 2.1
65～69歳	1,951 100.0	904 46.3	1,016 52.1	31 1.6
70～74歳	2,340 100.0	1,021 43.6	1,270 54.3	49 2.1
75～79歳	1,649 100.0	699 42.4	912 55.3	38 2.3
80～84歳	1,122 100.0	484 43.1	609 54.3	29 2.6
85～89歳	604 100.0	303 50.2	289 47.8	12 2.0
90歳以上	236 100.0	102 43.2	125 53.0	9 3.8
年齢無回答	24 100.0	9 37.5	13 54.2	2 8.3
男性・計	3,620 100.0	1,438 39.7	2,097 57.9	85 2.3
男性・65～69歳	920 100.0	377 41.0	527 57.3	16 1.7
男性・70～74歳	1,080 100.0	414 38.3	639 59.2	27 2.5
男性・75～79歳	779 100.0	292 37.5	469 60.2	18 2.3
男性・80～84歳	472 100.0	183 38.8	274 58.1	15 3.2
男性・85～89歳	280 100.0	136 48.6	138 49.3	6 2.1
男性・90歳以上	89 100.0	36 40.4	50 56.2	3 3.4
男性・年齢無回答	0 -	0 0.0	0 0.0	0 0.0
女性・計	4,249 100.0	2,056 48.4	2,110 49.7	83 2.0
女性・65～69歳	1,025 100.0	525 51.2	485 47.3	15 1.5
女性・70～74歳	1,249 100.0	602 48.2	625 50.0	22 1.8
女性・75～79歳	861 100.0	402 46.7	439 51.0	20 2.3
女性・80～84歳	643 100.0	296 46.0	333 51.8	14 2.2
女性・85～89歳	323 100.0	166 51.4	151 46.7	6 1.9
女性・90歳以上	145 100.0	65 44.8	74 51.0	6 4.1
女性・年齢無回答	3 100.0	0 0.0	3 100.0	0 0.0

調査区別にみると、うつのリスク該当者の割合が最も多いのは「愛宕橋・八木山・西多賀・山田」で48.4%、最も少ないのは「根白石・南中山」で40.2%となっており、両調査区の間には8.2ポイントの差があります。

◆調査区別



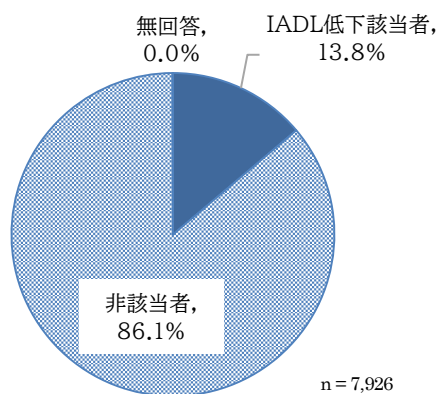
4 手段的自立度 (IADL)

活動的な日常生活を送る上での動作として、手段的自立度 = IADL (Instrumental Activities of Daily Living) の低下を問う設問が5問あり、「できない」を1つ以上選択した人をIADLの低下該当者としました。

回答結果をみると、IADL低下該当者の割合は、13.8% (男性 16.8%、女性 11.1%) となっています。

問番号	設問
問7(2)	バスや電車を使って一人で外出していますか
問7(3)	自分で食品・日用品の買物をしていますか
問7(4)	自分で食事の用意をしていますか
問7(5)	自分で請求書の支払いをしていますか
問7(6)	自分で預貯金の出し入れをしていますか

◆全体

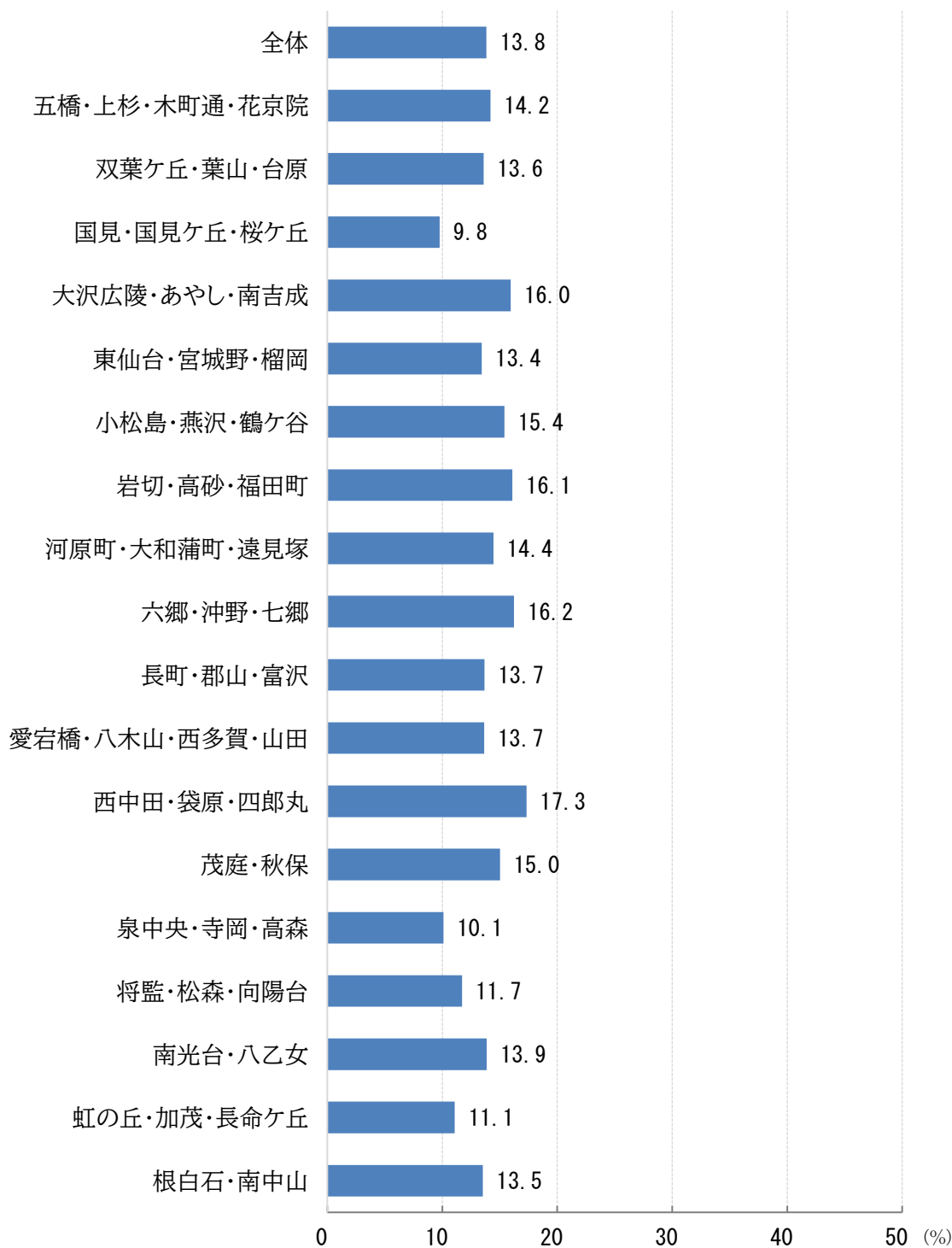


◆性別・年齢階級別

	全体	該当者	非該当者	無回答
全体・計	7,926 100.0	1,097 13.8	6,826 86.1	3 0.0
65～69歳	1,951 100.0	122 6.3	1,829 93.7	0 0.0
70～74歳	2,340 100.0	250 10.7	2,088 89.2	2 0.1
75～79歳	1,649 100.0	204 12.4	1,444 87.6	1 0.1
80～84歳	1,122 100.0	193 17.2	929 82.8	0 0.0
85～89歳	604 100.0	199 32.9	405 67.1	0 0.0
90歳以上	236 100.0	118 50.0	118 50.0	0 0.0
年齢無回答	24 100.0	11 45.8	13 54.2	0 0.0
男性・計	3,620 100.0	609 16.8	3,009 83.1	2 0.1
男性・65～69歳	920 100.0	83 9.0	837 91.0	0 0.0
男性・70～74歳	1,080 100.0	167 15.5	912 84.4	1 0.1
男性・75～79歳	779 100.0	140 18.0	638 81.9	1 0.1
男性・80～84歳	472 100.0	97 20.6	375 79.4	0 0.0
男性・85～89歳	280 100.0	85 30.4	195 69.6	0 0.0
男性・90歳以上	89 100.0	37 41.6	52 58.4	0 0.0
男性・年齢無回答	0 -	0 0.0	0 0.0	0 0.0
女性・計	4,249 100.0	472 11.1	3,776 88.9	1 0.0
女性・65～69歳	1,025 100.0	38 3.7	987 96.3	0 0.0
女性・70～74歳	1,249 100.0	80 6.4	1,168 93.5	1 0.1
女性・75～79歳	861 100.0	62 7.2	799 92.8	0 0.0
女性・80～84歳	643 100.0	96 14.9	547 85.1	0 0.0
女性・85～89歳	323 100.0	114 35.3	209 64.7	0 0.0
女性・90歳以上	145 100.0	80 55.2	65 44.8	0 0.0
女性・年齢無回答	3 100.0	2 66.7	1 33.3	0 0.0

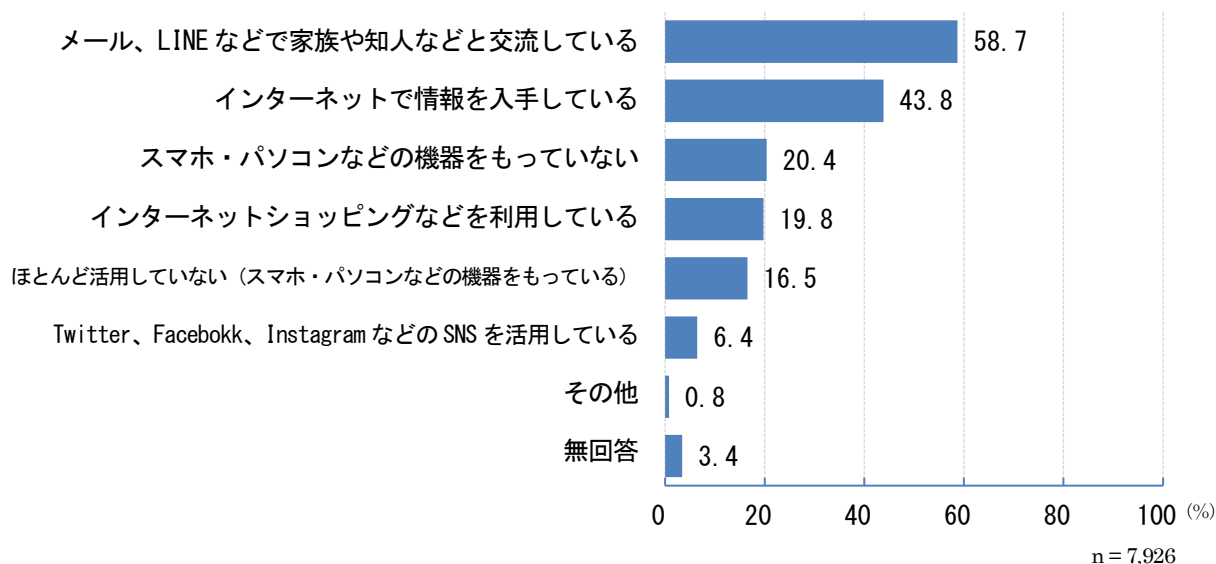
調査区別にみると、IADL低下該当者の割合が最も多いのは「西中田・袋原・四郎丸」が17.3%となっています。最も少ないのは「国見・国見ヶ丘・桜ヶ丘」で9.8%となっており、両調査区の間には7.5ポイントの差があります。

◆調査区別



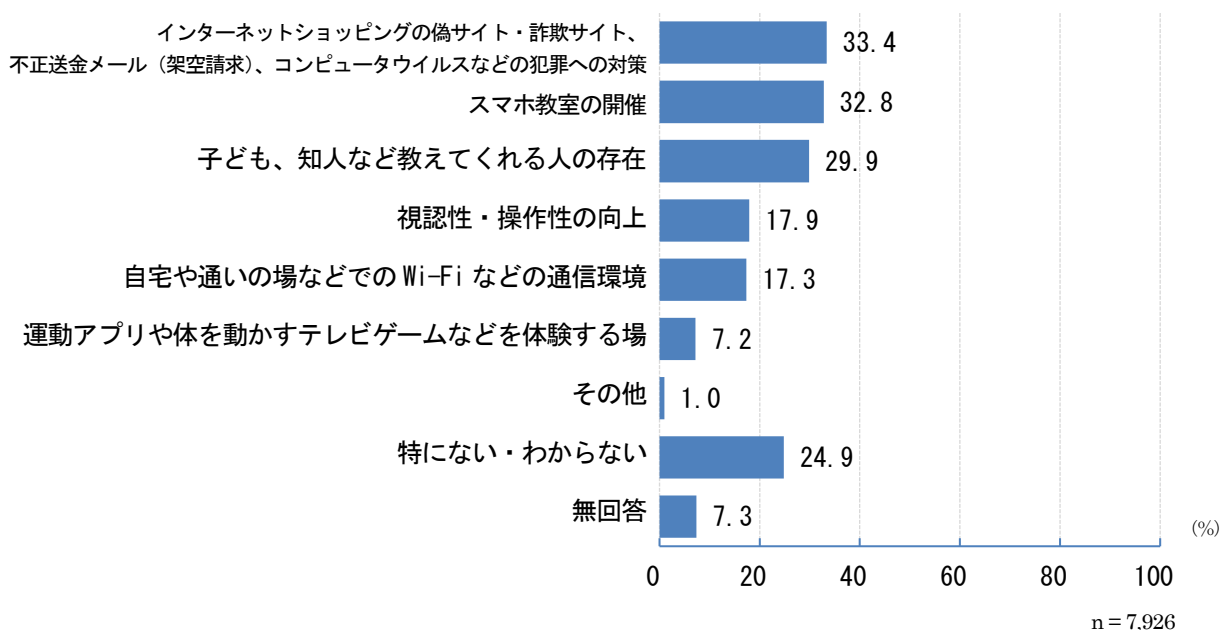
5 インターネットやスマートフォン等の活用状況（複数回答）

本市独自の項目で、スマートフォン（スマホ）、パソコンの所持状況や利用状況について調査を行いました。最も多い回答は「メール、LINE（ライン）などで家族や知人などと交流している」で58.7%となっています。



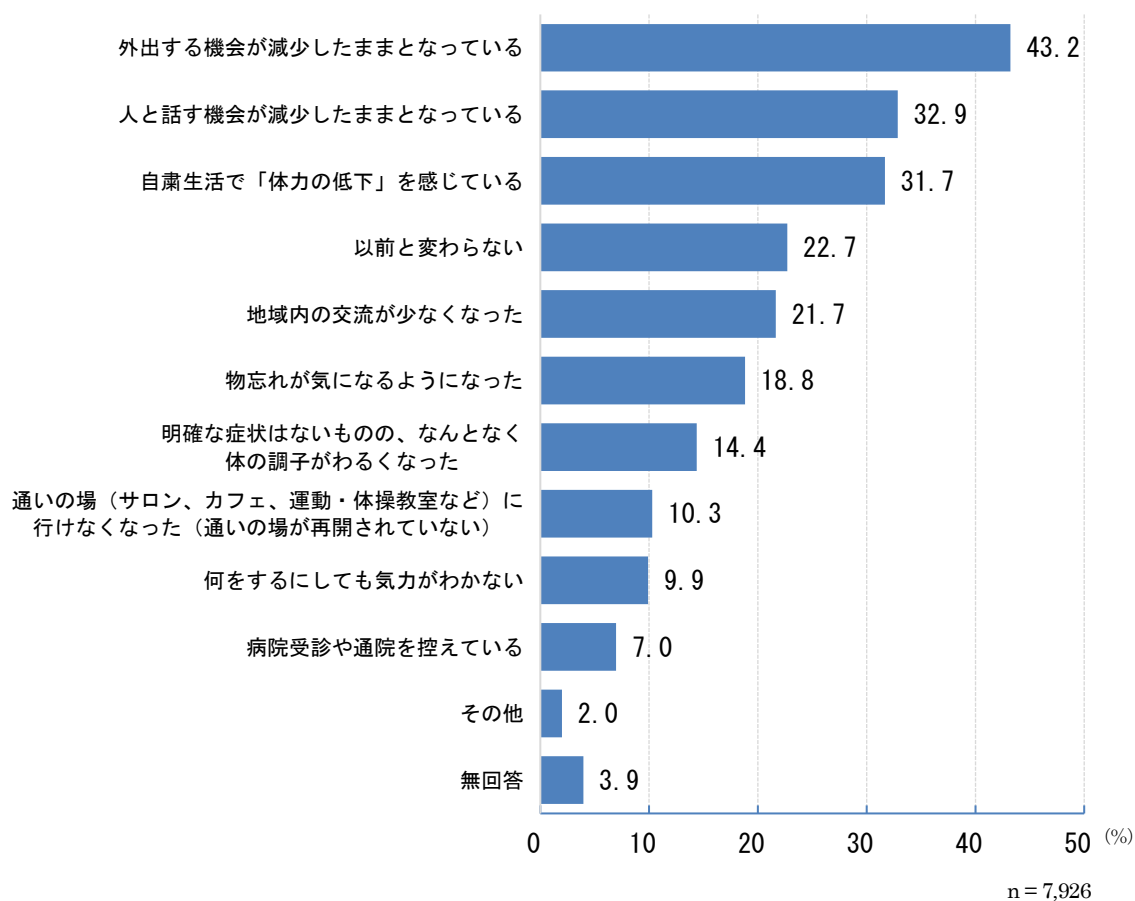
6 スマートフォン等の活用に必要なこと（複数回答）

本市独自の項目で、スマホ、パソコンを利用するにあたってどのような支援が必要であるか調査しました。最も多い回答は「インターネットショッピングの偽サイト・詐欺サイト、不正送金メール（架空請求）、コンピュータウイルスなどの犯罪への対策」が33.4%となっています。



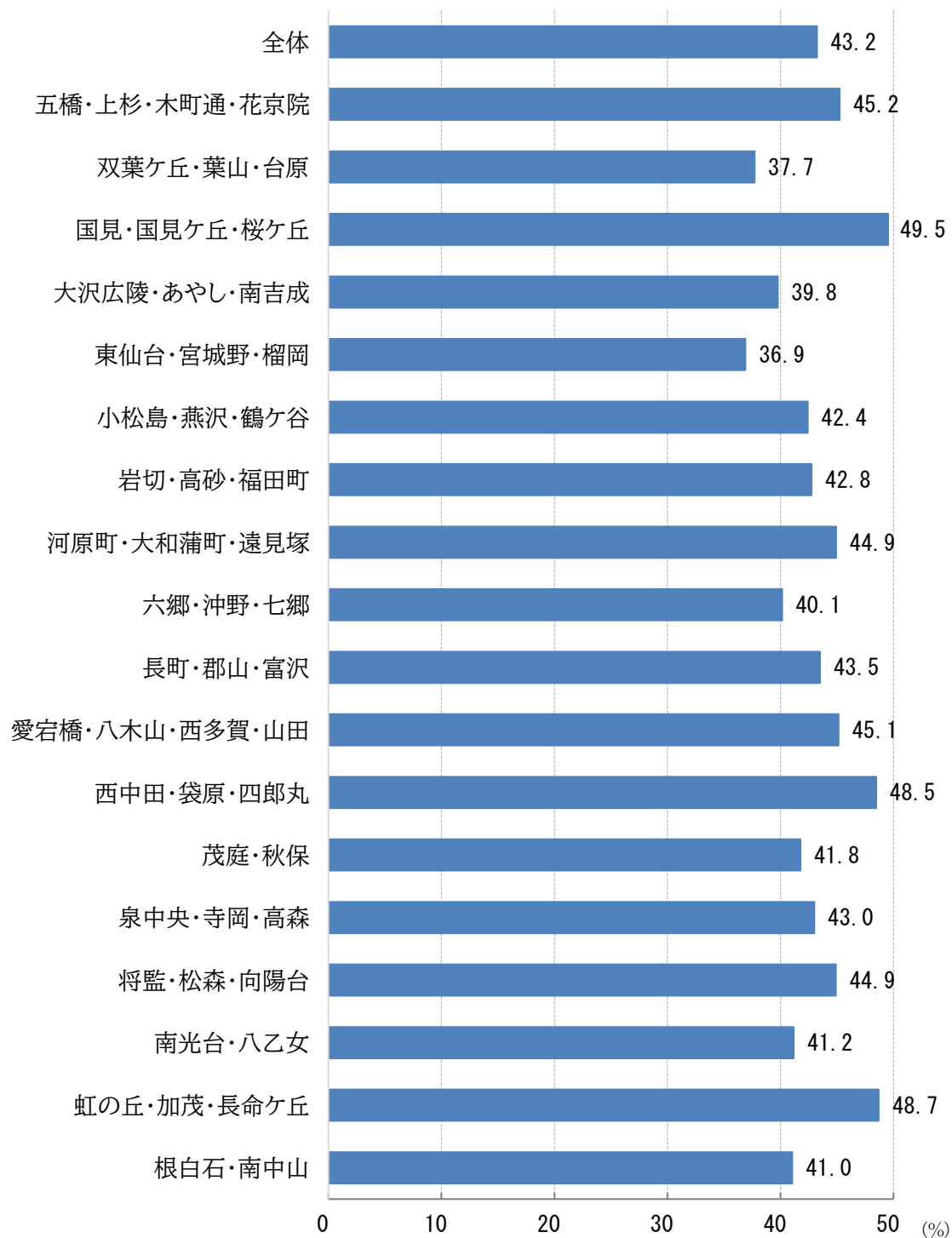
7 新型コロナウイルス感染症による影響（複数回答）

本市独自の項目で、新型コロナウイルス感染症によって、日常生活や心身の状態にどのような影響があったのかを調査しました。最も多い回答は「外出する機会が減少したままとなっている」が43.2%となっています。



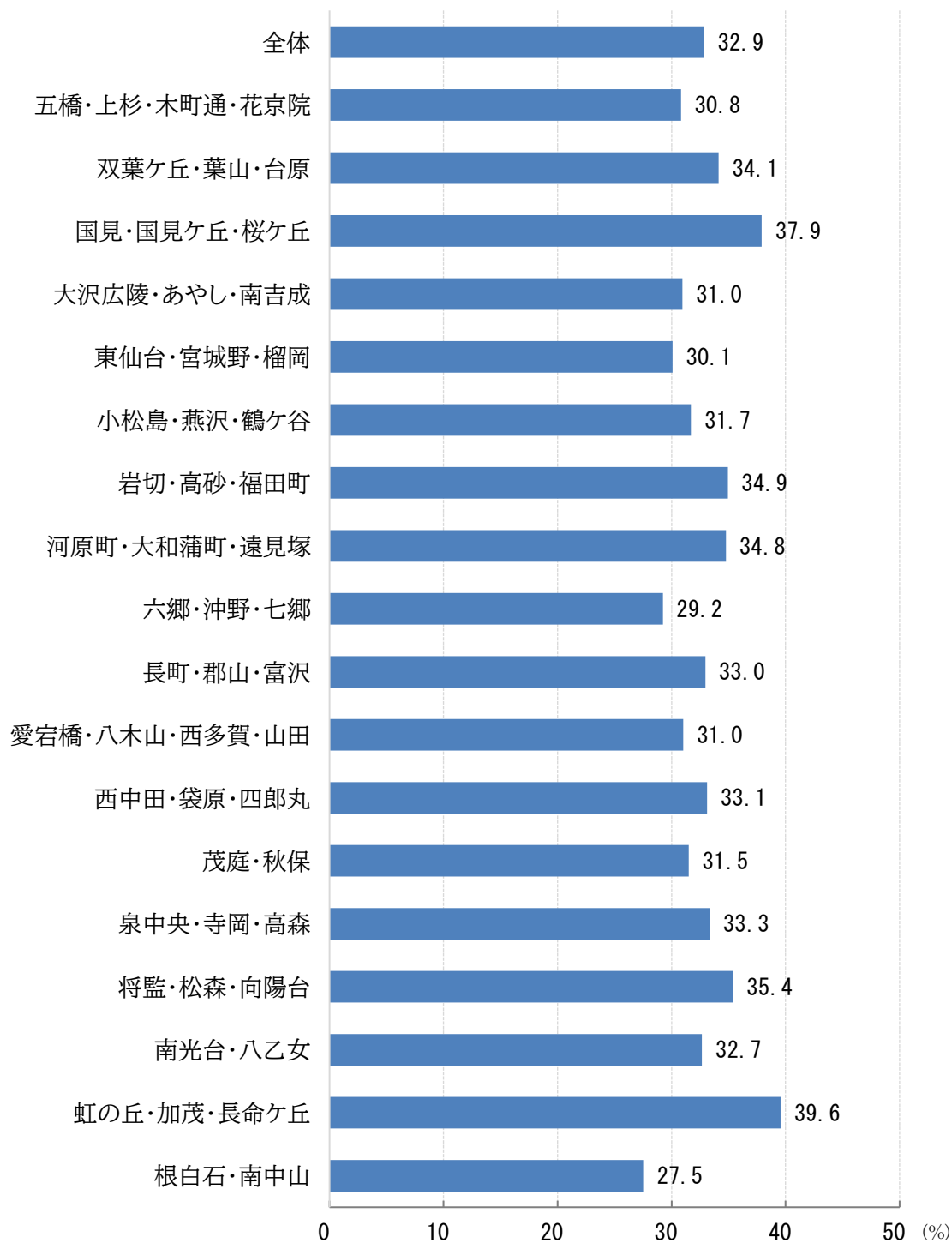
◆調査区別（外出機会）

新型コロナウイルス感染症による外出・移動などの自粛期間の影響により、外出する機会が減少したままとなっていると回答した方の割合は、「国見・国見ヶ丘・桜ヶ丘」が49.5%と最も多くなっています。次いで「虹の丘・加茂・長命ヶ丘」が48.7%となっています。



◆調査区別（話す機会）

新型コロナウイルス感染症による外出・移動などの自粛期間の影響により、人と話す機会が減少したままとなっていると回答した方の割合は、「虹の丘・加茂・長命ヶ丘」が39.6%と最も多くなっており、次いで「国見・国見ヶ丘・桜ヶ丘」が37.9%となっています。



◆調査区別（体力の低下）

新型コロナウイルス感染症による外出・移動などの自粛期間の影響により、体力の低下を感じていると回答した方の割合は、「長町・郡山・富沢」が36.3%と最も多くなっており、次いで「五橋・上杉・木町通・花京院」が35.0%となっています。反対に、最も少ない割合となっているのは「茂庭・秋保」で25.5%となっています。

